

中小企業のための

コスト削減 ガイドブック



株式会社みらいサポート

はじめに

「利益をもっと増やしてキャッシュを安定させたい」

これは、多くの中小企業の社長が抱えている悩みです。

その上で、中小企業が利益を増やすために取り組めることは、2つです。

- 1つは、売上を今より伸ばすこと
- もう1つは、人件費や固定費などのコストを削減すること

中小企業は、人的リソースも限られている中、すぐに目先の売上を伸ばすことは簡単ではありません。もし仮に、売上が順調に増えてたとしても、それに伴って経費が多くかかってしまい、利益が相殺されてしまう可能性もあります。

一方、2つ目のコスト削減であれば、明日からでも実践できる方法がいくつもあります。

そこで、今回の電子書籍、「中小企業のためのコスト削減ガイドブック」には、中小企業でも取り組めるコスト削減の方法をまとめました。

1. なぜ今、コスト削減をやるべきか

2. 固定支出の定期診断をするメリット

3. 従業員給与削減の方法

- ・バイト・契約社員を雇う
- ・交通費は6ヶ月単位で支給する
- ・残業を減らす
- ・アウトソーシングを活用する

4. 交際費削減の方法

- ・ランチ会食にする
- ・カテゴリーごとに上限を設定する
- ・事前承認制を導入する

5. 旅費交通費削減の方法

- ・カーシェアを利用する
- ・WEB商談を導入する
- ・ホテルとパックで購入する

6. 通信費削減の方法

- ・ネット回線の契約プランを見直す
- ・携帯は格安SIMにする
- ・社内電話はLINE・facebookを活用する

7. 水道光熱費削減の方法

- 電気の料金プランを見直す
- 残業を減らす
- LED照明にする

8. 事務用消耗品削減の方法

- 社内共有物を電子化する
- 契約書・見積書・請求書を電子化する
- 複合機では裏紙を使い、プリントを減らす

9. 賃貸料削減の方法

- オフィスを減少させる
- 安価なビルに引っ越しをする
- 固定席を排除する

10. その他のコスト削減の方法

- ポイントが貯まる家電量販店で購入する
- 必要のない高機能がついたPCを購入しない

11. まとめ

1

なぜ今、コスト削減を考えるべきか

8年や10年ごとに未曾有の大不況と言われる経済危機が訪れます。未来予測はできませんが、おそらく今後も何かしらの想定外の大変動が起こるはずで

そんな不況やアクシデントの際に、多くの中小企業の社長が不安に感じることは「お金」ではないでしょうか。

大不況や経済危機が訪れたとしても、会社にお金の不安がなければ、じっと我慢して持ち堪えることができます。一番最悪の状態の時でも、売上ゼロ、無収入の状態でも、キャッシュが手元があれば生き残ることができます。

会社のキャッシュを増やすためには、今よりも新規顧客を増やし、売上を伸ばすといった方法もあります。しかし、新規顧客の獲得には、膨大な広告費や人的リソースが必要になります。売上の予測も難しく、短期期間で成果を出すことは簡単ではありません。

では、今すぐ手持ちキャッシュを増やすためにはどうしたらいいのか。それは、今より支出を減らすことです。

支出を減らすことができれば、利益も残りやすくなります。人件費や固定費、通信費など毎月出ていくコストを見直すことは、中小企業でもすぐに取り組むことができます。

2

通信コストの定期診断をするメリット

コストといっても、賃料や人件費、水道光熱費、通信費などの可視化できるコストもあれば、時間やコミュニケーションなどの見えないコストなど、さまざまです。

その中でも、定期的にコストを見直すことで、最大の効果を生み出すのが「通信コスト」です。通信コストとは、固定電話、ネット回線、複合機、OA機器などです。

では、なぜ通信コストは、定期的に見直すべきなのか。

通信コストに該当する、ネット回線やOA機器を提供する企業は、年々増え続け、常に競争の激しい業界です。各社、価格競争に参戦しているため、特典やサービスの向上が凄まじいスピードで進化しています。

そのため、1、2年前に加入したサービス内容であっても、すでに新しい格安の価格プランが追加されていたり、新サービスが始まっていることがよくあります。

ですので、定期的に現在の利用状況に応じて最適なプランに見直すことで、コストを削減できる可能性が高いのです。

また、OA機器などの購入の際には、複数の特典や保険に加入している場合があります。

最初は安心のために加入したけど、1、2年経ってみたら必要がないことに気づいたり、加入していたことすら忘れている場合もあります。

基本的に、ネット回線は2年縛りが多い為、1年半から2年で直し、OA機器などのリースは、5年契約か6年契約のものが多いため4、5年に1回、料金プランやサービス内容を見直すことをお勧めします。

さて、ここからは通信コスト削減も含めた、中小企業でも明日から取り組めることのできる、コスト削減の具体的な方法について解説をしていきます。

自社が取り組むことができるコスト削減はないかをチェックしながら、ぜひ読んでみてください。

3

従業員給与削減の方法

・バイト・契約社員を雇う

バイトや契約社員は、業績や繁忙期・閑散期などに合わせて働いてもらうことができます。業務量に合わせて、1日4時間だけ働いてもらうといった時短勤務などの調整をすることもできます。

通常、正社員を1人雇う場合、残業代やボーナス、社会保険、住宅補助などの福利厚生費がかかります。

仮に、社員の給与が20万円だとした場合、ボーナスや残業代、教育費、社会保険料などで、給与の1.5倍から3倍ほどかかると言われています。

ですので、バイト・契約社員を雇い最低限の時給の支払いに抑えることで、コストを削減することが可能です。

・交通費は6ヶ月単位で支給する

1ヶ月の定期代を毎月支給している場合は、6ヶ月の定期代を支給することでコストを削減することができます。

6ヶ月単位にすることで、だいたい1割程度は安く抑えることができます。従業員数が多ければ多いほど、コスト削減の効果は大きくなります。

例えば、平針駅から会社のある名古屋駅に通っている社員がいるとしましょう。

1ヶ月で定期を購入すると定期代は11,300円になりますが、6ヶ月で定期を購入すると61,020円になります。

つまり、半年分で6,780円も交通費を抑えることができます。

・ 残業を減らす

社員の残業を減らすことで、コストを削減することができます。

最近では、勤怠管理ツールなども普及していますので、労務担当者がその都度確認しなくても、簡単に勤怠をチェックすることが可能になりました。残業時間などが多い社員もすぐに把握することができるので、仕事の配分を調整するなどの対策をとることができます。

残業を減らすことは単にコスト削減だけでなく、生産性の向上や社員のモチベーションアップにも繋げることができます。

また、残業を減らす方法として、ノー残業デーを実施するという方法もあります。

ノー残業デーを設けることで、従業員は自然に限られた時間の中で業務を完遂させなければならない状況が生まれるので、1つ1つの生産性がUPします。

・アウトソーシングを活用する

雑多な業務や、専門性が必要な業務をアウトソーシングすることでコストを削減することができます。

雑多な業務を、社員にやらせることで、多くのコスト・工数がかかってしまいます。また、本来の担当業務が終わったあとに、処理しなければならない状況になることも多く、結果的に残業せざるを得ないケースがよくあります。

社員の残業が増えれば、残業代の支払いが発生するだけでなく、体力的にも疲弊してしまい、生産性の低下にも繋がってしまいます。

雑多な業務や専門性の高い業務をアウトソーシングすることで、これまでその業務に費やしていた時間を大幅にカットすることができます。従業員は本来注力すべき業務に集中して取り組むことができます。

4

交際費削減の方法

・ランチ会食にする

クライアントとの会食は夜に行うイメージがあると思います。しかし、ランチ会食にすることで、コストを削減することができます。

一般的に飲食店はディナータイムよりも、ランチタイムの方が価格設定が低いいため、飲食代を抑えることができます。

また、ランチタイムでの会食は1時間程度の短い時間であること、アルコールを飲むことがないので、少ない予算で済みます。

これは、クライアントとの会食だけの話ではありません。社内の親睦会や交流会を就業時間後の夜に行うのではなく、ランチに実施することで、コストを抑えることができます。

・カテゴリーごとに上限を設定する

会食が多く発生する場合は、カテゴリーごとに予算の上限を決めることで、コストを削減することができます。

上限とは、接待するお相手の方の役職や、会食に参加する人数により上限を設けるといった方法です。

上限を設けることによって、会食のお店を決める社員は予算内に収まる安価なお店を選ぶようになります。

・事前承認制を導入する

会食をする際には、事後報告ではなく承認制にすることでコストを抑えることができます。事業部の責任者、役員クラスの承認を得ることをルールにすることで、無駄な会食も無くなります。

また、お店を決める際には、過去に会食をした場所を参考に、あらかじめ予算ごとに会食を行う場所を選択できるように決めておくのもいいでしょう。

会食するお店がある程度決まっていれば、従業員はいちいちお店を探す必要も無くなります。1回の会食でかかる費用も予測がつくので、コストを削減することが可能です。

旅費交通費削減の方法

・カーシェアを利用する

営業車をリースしている場合、カーシェアの利用に切り替えることでコストを削減できる場合があります。カーシェアはここ数年で一気に需要が高まっていて、利用している企業も増えています。

コスト削減のために営業車を少なくしている企業も少なくありません。しかし、カーシェアを活用することで、不足していた社有車問題が解消され、営業効率が上がり売り上げがUPに繋げることもできます。

レンタカーを使うといった方法もありますが、カーシェアはレンタカーのように、前もって予約をする必要がありません。

毎日の営業予定に合わせて、自由に予約することができます。予定変更でも1分前まで変更・キャンセルができるので、従業員の負担も無くなりますし、急な外出でもすぐに乗ることができます。

・WEB商談を導入する

ここ数年で、WEB商談は多くの企業が導入しています。

WEB商談の最大のメリットは、商談のために移動をする必要がないので、これまでかかっていた、交通費を削減することができます。また、営業資料のペーパーレスも可能になるので印刷費の削減にもなります。

移動時間が削減できるということは、営業マンはこれまで1日にこなしていた商談数より1、2件多く商談をこなすことができるので、生産性もUPします。

また、移動がなくなることで商談対象のエリアの限定を排除し、全国の企業にアプローチすることが可能になります。

・ホテルとパックで購入する

新幹線や飛行機などを使って、遠方に出張する場合には、ホテルと新幹線をセットで予約することでコストを抑えることができます。

パック申し込みをして安く購入するためには、できる限り出張の予定を早めに計画することが必要です。前もって出張を計画できれば、利用する交通機関によって異なりますが、出発14日前や28日前の早割航空券などを利用することができます。

宿泊と交通機関をそれぞれ別々に予約した場合と比べると、約3割から5割ほどコストを削減することが可能になります。

6

通信費削減の方法

・ ネット回線の契約プランを見直す

ほとんどの企業がネット回線を引いていると思いますが、一度ネットを開通させてしまえば、問題なく使えてしまうため、期的な契約プランの見直しを行わない企業が多いです。

しかし、必要以上のスペックを持つ回線プランや、使わない固定IPアドレスなどを契約したままの場合があります。無駄なコストを支払っている可能性もあるため、定期的な、契約プランの見直しをすることで、コストを削減できる場合があります。

ネット回線のサービスの中には、上限変動制といって昼間と夜間で確保される帯域が変動するというサービスプランもあります。現在の会社の利用状況に応じて、適切な契約プランやサービスへの切り替えを行いましょう。

・ 携帯は格安SIMにする

社員に、携帯電話を支給していて、かけ放題プランに加入していたり、出先でテザリングを使用できるようにしていると、毎月結構なコストがかかります。

格安SIMといった、格安の料金で利用できる通信サービスを利用することでコストを削減できます。

法人契約の場合は、法人向けとして特別に料金の割引や新規契約・MNP時のキャンペーンが展開されている場合もあります。

格安SIMの特徴は、データプランが細かくデータ容量を分けて設定されているため、本当に必要なデータ容量分のプランを組む事ができるので、無駄な支払いがなくなります。

・社内電話はLINE・facebookを活用する

社内での連絡は、LINEやfacebookなどの無料のツールの通話機能を活用することで、コストを削減することができます。

企業によっては、営業部門などで新規顧客開拓のテレアポや、既存顧客へのフォロー対応などで必要不可欠な社外への電話をかけることがあると思います。営業に関わらず、在庫や仕入れなどで卸業者様などに電話する場合があります。

全ての電話をLINEやfacebookなどの無料ツールの電話機能を活用することは難しいかもしれませんが、社内の従業員同士の通話だけでも無料のツールを活用することで通話料金を削減することが可能になります。

水道光熱費削減の方法

・電気料金のプランを見直す

電力自由化で、電力会社を選べるようになりましたが、これは家庭の電気の話だけではなく、企業も電力会社も選ぶことが可能です。

電気代は、オフィスが広ければ広いほど照明などの関係で高くなります。また、パソコン作業が多い職場や、空調を使う頻度が多くなると電気代が高くなります。

電気代はオフィスがある限りは、毎月必ず発生する費用ですので、毎月少しコストを削減しただけでも、年間にすると結構なコスト削減につながります。

・残業を減らし、昼休みは消灯する

残業する従業員が多い分、電気代は高くなります。残業は、ただ照明を夜遅くまで使用するだけでなく、一番電力を消費している空調や、業務によってはパソコンも使用します。

残業を減らすためには、事業部ごとに日々の業務の切り分けや見直しをすることも大切ですが、強制的にノー残業デーなどを設けて、残業できない環境にすることも1つのポイントです。

また、企業によっては昼休みの時間を消灯するようにし、電力の節電をしているパターンもあります。

昼休みの時間を消灯させる方法は、電力のコスト削減だけではなく従業員がしっかりと休憩をとることができるので、健康管理の面でも効果を生み出します。

・LED照明にする

LED照明は、消費電力が少なく経済的 LED照明は、少ない電力で従来の照明と同等の明るさを維持することができます。

資源エネルギー庁の調べによると、平均的なオフィスビルでは、電力消費の内訳が、空調が48%、照明が24%、パソコンやコピー機などのOA機器が16%だそうです。

空調が電力消費の大半を占めているため、冷房や暖房の節約に気をつけている企業も多いですが、照明も全体の4分の1を占めているため、LEDに切り替えることでコスト削減につながります。

8

事務用消耗品削減

・社内共有物を電子化する

社内のあるゆる場所で、無駄な印刷やコピーなどが発生している企業が少なくありません。出来るだけ社内で共有するものは、電子化することでコストを削減することが可能になります。

例えば、毎月発行している広報誌などを掲示板などに貼っている場合は、電子化して従業員にメールで通知することで印刷する必要がなくなります。

過去の顧客資料や、膨大な文書も電子化することで、文書を保管していたスペースも必要無くなります。

文書や資料を電子化する場合では、一般的にモノクロ文書の場合、CD1枚に約10,000ページ以上の内容を記録することが可能です。これは、通常使用する5cmほどのバインダーの約30~40冊分になります。

・契約書・見積書・請求書を電子化する

契約書や、見積書を郵送している場合は、電子化させることでコストを削減することが可能になります。

契約書の電子化とは、従来紙に署名・捺印をして締結していた契約書をwordやpdf等の電子文書を使って契約の電子締結する方法です。

ここ数年で「ペーパーレス」や「脱ハンコ」により契約書の電子化を進めている企業も多くいるため、電子契約のクラウドシステムも普及しています。

通常、契約書などを発送する場合、印刷だけでなく切っただきの郵送費も発生しますので、電子化させることで経理部門の手間が省けたり、従来よりも短時間で締結完了させることができます。

・複合機では裏紙を使い、プリントを減らす

社内に裏紙ボックスを設置し、捨てずに再利用することでコストを削減することができます。社内で共有する使用であれば、新しい紙ではなく裏紙でも十分に活用することができます。

また、印刷をする際にコストを削減する大きなポイントが2つあります。1つ目は、1枚の表示枚数を2枚や4枚にする方法です。通常40ページをこの方法で印刷すれば半分の20枚、もしくは10枚で収めることができます。

また、複合機を使用する場合、コピーより印刷の方が料金が高いため、大量に同じ資料を印刷する場合は、1枚だけ印刷し、残りはコピーすることでコストを削減することが可能です。

賃貸料削減の方法

・オフィスを減少させる

オフィスコストの中でも、一番大きなコストになるのは家賃です。しかし、オフィスには、家賃以外にも、OA機器購入代、デスクや事務用品などの備品購入代、印刷代、ソフトウェア代など様々な費用が発生します。

オフィスを1つ減少させることで、ランニングコストを大きく削減できます。

近年テレワークを導入する企業も増え、自宅で仕事をする人たちも増えてきました。その結果、これまで必要だった広さのオフィスが必要なくなるケースもあります。

テレワークを積極的に導入し、オフィスを減少させることで、OA機器や事務用品なども最低限で抑えることができます。

・安価なビルに引っ越しをする

一般的に言われているのは、賃料は売上に対する利益の10~20%ほどが、家賃平均だといわれています。

もし、それ以上に賃料が発生している場合には、安価なビルに引っ越しすることもコスト削減する1つの方法です。

また、近年では様々な働き方があります。オフィスを持たずにシェアオフィスを活用している企業もあります。シェアオフィスは、通常の賃貸契約よりも格安で立地の良い場所で仕事をすることができます。

また、長年都内にオフィスを置いていた企業が、郊外に移転したケースもあります。郊外に引っ越すことで家賃を抑えるだけでなく、従業員にとっても良い環境を作ることができます。

・固定席を排除する

ここ数年で注目されているのが、固定のデスクを設定しない「フリーアドレス」というオフィスです。従業員1人1人の固定のデスクを作らないことで、デスクを最小限に抑えることができるので、コスト削減になります。

特に営業マンが大人数いる企業にとっては、ほとんどの従業員が日中外出していたり、従業員がオフィスに全員揃う日はほとんどない場合もあります。

そういった場合、社員が必要な時だけそれぞれに空いている席や自由な席で仕事することで、無駄なスペースを省くことができます。

また打ち合わせなども、空いている席で集まって行うことができるので、複数の会議室なども不要になるため、オフィスの広さも最低限に抑え、家賃を削減できます。

その他のコストを削減する方法

・ポイントが貯まる家電量販店で購入する

オフィスで購入する家電製品は、掃除機、冷蔵庫、電子レンジ、電気ポット、空気清浄機、加湿器など基本的に高価格なものです。

購入するお店を、ポイントが貯まる1つのお店に決めることで、貯まったポイントで次回必要な家電を、ポイント購入することが可能になります。

家電だけでなく可能であれば、PCやキャビネットなども同じお店で購入するといいでしょう。

一般家庭では、なかなか貯まりにくいイメージがあるかもしれませんが、会社の場合には大量購入することや、高価格のものを定期的に購入することもあるため、ポイントの効果を非常に発揮します。

・必要のない高機能がついたPCを購入しない

パソコンは、基本的に高価格なほど高いスペックや機能が付いています。しかし、業務上必要のない機能が付いているものを買ってしまえば、それは無駄なコストになってしまいます。

例えば、便利なMicrosoftや、Adobeなどが付帯で付いてくるPCを購入しても、使用する社員が業務上使わないのであれば必要ありません。

また、近年では資料作成や、数値管理などもExcelやWordではなく、Googleなどで使えるスプレッドシートやドキュメントなどの無料ツールを使用している企業も増えています。

これまで有料のソフトで行なっていた業務を無料ツールに移行することでコストを削減することができます。

まとめ

ここまで、中小企業でも明日から取り組むことができる、コスト削減の方法をお話してきましたが、いかがだったでしょうか。

全ての方法を実施することは難しいかもしれませんが、必ず2つ3つすぐに始められるコスト削減の方法があったはずです。

会社の利益は、売上げからコストを引いたものになります。なかなか人的リソースを増やせなかったり、新規事業に取り組むことができなくても、支出を減らすことができれば、利益を増やすことができます。

ぜひ、あなたの会社でもコスト削減に取り組んでみてください。